令和２年度　特別養護老人ホームアンパス東大阪　事業報告

１、総括

令和２年度は、コロナ禍の中、新しい生活様式を参考に、感染対策を行い入所者、利用者が安心して利用いただける施設づくりに取り組みました。

デイサービスでは、1 月に利用者のコロナウィルス発症により、2 週間休止しました。保健所との連携により濃厚接触者の定義を確認することで、以降の施設運営に反映させました。

人材確保は、新卒 2 名、紹介会社による中途採用 5 名、外国人採用 8 名（留学生 3 名、特定技能実習生 2 名、技能実習生 3 名）が入職しました。1 人あたりの夜勤回数や残業を減らすことは、徐々に改善に向かっています。また、有給休暇取得は、基準の日数は取得できていますが、部署によって取得日数に差が生じています。【別紙①】

職員育成は、管理者（施設長、副施設長、部長）が、法人理念、施設ビジョンを中堅職員および一般職員に指し示すことで、アンパス東大阪が目指すケアのあり方についてともに学び、組織の基盤づくりに取り組みました。コロナ禍の中、内部研修やリモート研修を充実させました。外部講師を活用することで、他法人連携（とりかい白鷺園、四恩学園）による、学習の機会を新たな取り組みとして設けました。【別紙②】

運営面は、入所部門 91.5%（95.1%）、通所部門 28.7 人（27.3 人）の結果となりました。

設備面については、老朽化に伴う故障が相次ぎ、取り換えや修繕が必要な状況が続きました。【別紙③】

補助金申請では、通信環境整備（Wi-Fi）、眠りスキャンを導入することで職員の負担軽減と個別のケアの充実に取り組みました。また、感染予防に関する備品や機器を積極的に導入しました。

２、各事業報告

□特養

・コロナウィルス感染予防対策を徹底したことで、利用者、職員ともに発症を防ぐことはできたが、コロナ禍で他施設や医療機関からの新規利用者の獲得が難しく、稼働率は目標の 96%には至らず低迷した。

・利用者の個々のニーズや要望を聞き取り、実現可能な利用者から『夢かなえ企画』を実施した。コロナ禍ではあったが、感染予防に努めながら、以前から要望のあったケンタッキー・フライド・チキンへの外食や、大型ショッピングモールへでかけ、地域クーポン券を活用して買い物や食事を職員とともに楽しんだ。コロナ禍で面会制限や行事を縮小せざるを得ないなかでも、少しでも生活の質の向上へとつながる努力した。各フロアで『夢かなえ企画』をきっかけに個別ケアとは何かを考え実践に取り組んだことで、職員の仕事に対する意欲向上ややりがいにつながった。

・留学生、特定技能実習生の指導育成に関しては、日本人職員が介護技術や知識について、わかりやすく根拠をもって指導できるようになり、職場の雰囲気も明るく活気づいた。しかし 2 月に入職した技能実習生については、日本語がほとんど理解できない状況であったため、他の外国人職員にも協力を得ながら指導を行ったが、介護の細やかなニュアンスが通じず指導に苦戦した。介護職員として一通りの仕事ができるまでには、日本語の習得が不可欠であるため、今後は採用についてもある程度の日本語レベルを（N３以上）求めていきたい。

□看護課
・利用者の健康管理
コロナ感染症拡大防止の取り組みを強化したことにより、インフルエンザ発生を予防した。
・職員の健康管理
健康診断・新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め、定期的なＰＣＲ検査、職員全員検温と体調チェックを継続した。
・看取りケアの充実
主治医や家族と連携を密に図り、入所者の方に寄り添い、介護スタッフと一緒に「夢かなえ企画」の実現、きめ細やかな対応を行った。
・人材育成、離職防止に努める
年度末にかけて退職者が相次いだ。業務改善を行うことで既存の職員が働きやすい雰囲気づくりに努めた。

□デイサービス
今年度は、コロナ感染症の感染拡大防止に向けた取り組みを強化しました。夏祭りをはじめ行事や地域交流、ボランティアによる活動が中止となりました。
１月には利用者の方がコロナ感染症に罹患していたことが判明し、保健所の指導により、１０日間営業を休止しました。その後、感染対策をさらに強化し安心して利用いただけるように努めました。
認知症デイサービスの利用者数は増加しています。ご家族、ケアマネジャーとの連携を強化し、運営推進会議による外部の声を反映させたことに加え、日曜日の受け入れを拡張させたことが支持された要因であると考えています。
個別のニーズに対応するサービス提供については、サービス担当者会議を通じ、スタッフ間の情報共有を図ることで、個々に沿ったサービス提供を行うことが出来ました。
今後は利用者、家族のアンケートによる満足度の調査による声を真摯に受け止め、サービスの質の向上を目指します。
職員のスキルアップは、介護福祉士としての専門性の研鑽（新人除く 10 名すべて資格取得済み）、ケアマネジャー、社会福祉士等の資格取得を視野に入れデイサービスに限らず幅広く活躍できる人材の育成に努めていきます。

□ヘルパーセンター
サービス提供責任者が 1 名増員となるも、1 名退職のため 2 名体制で運営を行っています。過去の書類整理を進め、新規獲得や安定したサービス提供を実施し、月訪問も全利用者宅へ訪問し、モニタリングの強化につながりました。
コロナ禍で身体を伴う研修は控えていますが、必要な研修は感染対策に配慮することで実施することで、登録ヘルパーのスキルアップを図りました。
新規獲得は、ケアマネージャーへ空き情報を通知することや利用者の方の状態に応じて臨機応変に対応したことで、サービス数を増やしました。

□栄養課
令和２年度は新型コロナウィルスの影響で、例年通りに食事イベント等が開催できませんでした。このコロナ禍の中でも、食事を楽しんで頂けるようにコロナ対策を十分に行いながら、給食会社と連携して、選択食や行事食以外にも郷土料理を提供する企画を行いました。また、季節感を味わって頂くために季節の果物を産地より取り寄せ、皆さんに提供しました。

経年劣化した食器の入れ替えを行ったことにより、食べやすく、見た目にも楽しむことにより、食事への満足度も上がりました。

□居宅介護支援事業所

・毎月の定期訪問にて、アセスメント・モニタリングを実施して利用者の状態把握を行い、新たな課題を確認して調整を行った。
・毎朝の朝礼と週１回の居宅会議で利用者情報の共有を行い、担当が休みの場合でも対応できる体制作りを行っている。
・自法人の地域包括よりターミナルの方や虐待事例の紹介を受け、行政や専門職種との会議を積極的に行った。その中で、多職種連携の重要性を認識した。
・会議にて利用者の情報共有は行えたが、研修などの取り組みは行えなかった。
・障害福祉サービスが適用されるご利用者１名あり。ニーズに対応可能なサービスが介護保険適用外の場合は継続して障害福祉サービスで実施できるよう担当相談員と連携を図ることができた。
・利用者対応の落ち着いている時に書類整理を行い、また業務の効率化を図れることがないか検討を行い、効率化できるところは実施した。
・地域包括支援センターが開催する研修に居宅から１名参加した。

□地域包括支援センターアンパス東大阪

今年度は新型コロナウィルスの影響で、訪問を控えて欲しいと希望される方が多数いた為、電話での実態把握、モニタリングに注力した。

権利擁護事業の虐待や困難事例の件数は減少したが、被虐待者の方の意思確認ができず、介入が難しいケースが増えている。関係機関との連携体制は、スムーズに連携を行えるようになった。さらに、居宅介護支援事業所の介護支援専門員から虐待や経済的な問題を抱える困難ケースの相談を受け、行政や保健センター等関連機関と連携し支援をおこなった。

介護予防教室に関しては、新型コロナウィルスの影響で、従来の屋内で行う教室は全て中止となったが、屋外での教室は継続し、新たな”貯筋通帳”を活用した立ち寄り型の介護予防教室も開催した。ＩＣＴの活用については、集合型の教室が困難になったため、新しい生活様式に沿ったリモート型の教室の立ち上げを行った。

今年度は、新型コロナウィルスの影響で前年度まで行っていたほとんどの事業が中止とせざるを得ない状況となった。また、感染症対策として細心の注意を払いながら、訪問を続けてきた。次年度は、中止となっていた各事業所も「新しい生活様式」を参考に、基本的な感染対策をおこないながら、順次再開を行っていき、どうすれば安全に安心して包括業務をおこなっていけるのかを模索していきたい。【別紙④】

□地域包括支援センター池島

新型コロナウィルス感染拡大の影響により、介護予防教室や男性サロン等のグループ活動が中止となり、地域での介護予防・健康推進を実施する場が減少した。認知症カフェや家族介護教室、認知症サポーター養成講座も実施できず、特に小学校での高齢者疑似体験やキッズサポーター養成講座は今後も開催が難しい。次年度は新しい生活様式を取り入れながら開催方法を検討し、少人数からでも地域の介護予防の推進を実現していく。

令和 2 年度は人員体制が厳しい状態が続いたが個別の相談件数は増加し、医療や社会資源等の多職種と連携しながら対応するケースが目立った。また、感染予防の観点から対面での相談が出来ず、ＩＣＴを活用することで迅速に支援策を検討できたことで問

題解決に繋がったケースもあった。

　次年度に向けて、コロナ禍で見えてきた地域課題を住民と共有し、ニーズに合った介護予防や個々の支援策を検討する機会の実現に取り組む。人員体制の確保については３専門職種が専門性を発揮できる場の構築、人材育成・連携体制の確保、働きやすい勤務環境の整備を継続して実施する。【別紙⑤】

令和2年度　社会福祉法人あゆみ会

大和川地域在宅サービスステーション　アンパス住吉

事業報告

1、 総括

　令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、感染の恐怖と隣り合わせという不安な状況で1年間運営をして参りました。当施設でも通所介護の利用者様1名が感染し緊張が走りましたが、幸い感染拡大せず利用者様も回復され通常営業を継続することが出来ました。現在も終息の目途が立っておらず不安な日々が続いていますが、今後も感染予防対策を徹底して事業運営を行って参ります。また「地域に愛される施設」を目標に掲げ、積極的な地域交流を行っていく予定でしたが、こちらも新型コロナウイルス感染症の影響で中止や小規模での開催となりました。

　人材育成・確保については、外部研修の大半がオンラインでの受講となり会場までの交通費の削減、移動時間の短縮などのメリットがありました。
　また「残業ゼロ運動」を掲げ業務効率化や時間の有効活用等を推進した結果、前年度に比べ年間330時間の残業時間削減に成功いたしました。
　職場環境の改善について「職員に選ばれる施設」を目標に掲げ、残業時間を減らす、有給休暇の取得日数を増やす取り組みに注力した結果、令和2年度の退職者は１名、離職率 4.8%となりました。
　今後も職場環境の改善に注力し、職員とのコミュニケーションを活発に行い、「職員に選ばれる施設」を目標に邁進して参ります。

　設備面については優先順位を付け、順次改修を行うことで施設を維持し利用者及び職員が快適に過ごせるように取り組んで参ります。今後は施設内の LED 化の検討を進めて参ります。

　運営面につきまして各部署が数値目標を掲げ、数字を意識して業務に励みました。
　通所介護においては新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数の減少が続いており現在も回復には至っておりません。
　また令和２年度は当施設のすぐ近くに他事業所のデイサービスが2施設オープンしました。今後も地域に密着した営業活動を行い、地域の方に選んで頂けるよう尽力して参ります。

2、 各事業報告

（1）通所介護事業

令和2年度の1日平均利用者数は 26.6 名となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け利用者数が減少しました。主な原因として利用終了された方が 3 名、利用自粛を現在も継続されている方が14 名いらっしゃいます。新規利用者の受け入れは順次進めているものの回復には至っておりません。コロナ終息を待つのではなく、今後もケアマネジャーへのアプローチを積極的に行い、新規受け入れを柔軟に対応し利用者、家族のニーズに応え、当施設の運営基盤でもある通所介護事業の安定運営に注力して参ります。

（2）訪問介護事業

令和2年度の月平均サービス提供時間数は 100 時間となりました。

デイサービスからの職員異動により11月より2名体制で事業運営を行いました。職員数を増員したことで、サービス提供時間数も増加し、コロナ禍の中でもニーズがあると実感しております。このニーズに対応できるよう今後も継続して登録ヘルパー等の人員の獲得に尽力して参ります。

（3）居宅介護支援事業

令和2年度の月平均利用者件数は 66.2 件となりました。

前年度より月平均5件以上増加しており、黒字化まであと一歩となっております。今後も利用者、家族のニーズを捉え「利用者本位」「利用者自身の選択」を根本とし、住み慣れた地域で自立した日常生活が継続できるよう適切な情報提供や支援を行って参ります。また数字への意識を緩めることなくケアプランセンター単体での黒字化を目指して参ります。

（4）在宅介護支援事業

令和2年度の相談実利用者数127 人、延べ相談件数1054 件となりました。

今後も地域包括支援センター、地域のボランティア、医療機関等との連携強化を図り、地域と当施設とを繋ぐ要として今後も地域の問題解決に一体となって取り組んで参ります。またブランチから自施設のサービスへと展開し連携できるよう業務を遂行して参ります。

令和２年度　アンパス保育園　事業報告書

本年度は新型コロナウイルス感染症対応に追われ、新たな保育のかたち、取り組みを模索する年となりました。保育をめぐる制度・環境の変化に対応すべく、保育現場の実情を踏まえて保護者、地域のニーズを把握し改善するよう努めてきましたが、コロナ禍においては昨年同様やむを得ず、一時預かり保育や園庭開放、地域の高齢者との交流等を中止するなど、人と人との接触を避けながら保育を行うかたちとなりました。

改めて「人と人とのつながり」の大切さ、子どもたちにとって様々な人と触れ合うことや多様な体験をすることが成長過程においてどれだけ大切かを知りました。今後も続くと思われるコロナ禍において未来を担う子どもたちに必要な体験の場を提供できるよう環境の整え方を考えながら運営していきます。

1. 法人理念に基づく保育計画・保育内容

≪重点目標≫

「教育」「養護」の充実

知識を伝えたり、教えたりするだけでなく、子どもの興味関心を引き出し「考える・探求する・気づく」など、さまざまな経験を通して学べるような保育環境や活動を計画し実行する。また、子どもたちが心身ともに心地よいと感じ、主体的に育っていけるよう一人ひとりに寄り添いながら保育を行った。

2. 保護者や地域の子育て支援

≪保護者≫

保護者の意見…アンケート（1 回：10 月 12 日）

お便り（園、クラス、保健、食育、運動、「今週の保育」）発行

個人懇談（1 月：希望者対象）

クラス懇談　※中止

≪地域活動・子育て支援≫

地域新聞…1 回（10 月 1 日）

地域の意見…アンケート（10 回：８月～10 月の間に実施）

子育て支援サークル（どんぐり広場）への保育士派遣　※中止

校区遊ぼう会への保育士派遣　※中止

㋐ 世代間交流

アンパス住吉
おふろ倶楽部
リビングかずほ
長曽根住宅老人会「ひまわり」
ケアライフ ハーモニー堺
} ※中止

㋑ 異年齢児交流 … 園庭開放（5 回：7/6.20、10/12.19、11/9.16、延べ 29 名）

㋒ 育児と仕事両立支援事業 … 離乳食懇談会、中学校職場体験　※中止

㋓ 在宅子育て家庭支援事業 … 乳児訪問 19 件　（前年度 15 件）

㋕ 職業体験事業 … 5 日間の夢体験　1 名（7 月 27 日～7 月 31 日）
上記㋐㋑㋒㋓㋕は堺市補助金事業

◆苦情
苦情申し出件数…1 件

◆特別保育
「延長保育事業」対象時間…午前 7 時～7 時 30 分、午後 6 時 30 分～午後 8 時
利用実績…延利用児童数　1019 名（朝 686 名、夕 333 名）
「障害児保育事業」特別支援対象児 0 名、年 2 回巡回指導　※中止
「一時預かり事業」利用定員…　一日　3 名（前年度 4 名）
利用実績…延利用児童数　116 名（前年度 564 名）
コロナ感染症対策のため 4 ヶ月間中止

3. 職員の専門的知識・技能の向上と育成

① 研修
研修報告書（添付資料 1、2 参照）

② 人事評価
・第 1 次面談 4 月 … 4 月～6 月　目標面談「目標シート」
・第 2 次面談 9 月 … 9 月　中間面談「人事評価表」
・第 3 次面談 2 月 … 1 月　期末面談（フィードバック面談）

③ 会議
【食育会議】
様々な体験を通して「食」に関する知識を習得し、健康的な食生活が送れるよう目指す
【給食会議】
㈱マルワと行事食、アレルギー食、給食だより、食育活動について計画、実施状況の確認
【健康管理会議】
排便、食事、睡眠、防災、体探検隊の活動計画と振り返り
【リスクマネジメント会議】
ヒヤリハットの分析、課題、改善等、リスク回避のための環境改善策を保育に活かす
【職員会議】
行事の打ち合せ、内部研修、コロナ禍における保育活動について
【クラス責任者会議】
クラス間の連絡調整、コロナ禍における人員配置の調整、保育活動の変更点など
【運営会議】
社会情勢、地域のニーズ、堺市の待機児童数、制度の動向等を把握し園運営に反映させる
【次年度会議】
次年度に向けての周知事項および園の重点目標の伝達

会議実施日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食　育	17	18	16	17	17	15	16	16		12, 15	16	16	12回
給　食	20	18	18	20	19	18	20	20		21	17	19	11回
健康管理		1, 19	15	13	18	19	12	9	12	14	25	8	12回
ﾘｽｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ		15, 27	24	22	26	23	28	27	23	28	22	15	12回
職　員			24	22	26	23	28	25	16	27			8回
クラス責	4, 13, 27, 30	13, 20	1, 17, 23	2, 8		9	7						13回
運　営	24			1		2		4	3	13	17		7回
次年度												27	1回

4. 情報公開

(1) 社会福祉法人として、必要な情報開示を行います。基本情報は保育園の HP に掲載し、決算書類等を法人 HP に掲載しています。

(2) 保育についての要望や意見をアンケートなどで把握し、それに対する回答と開示を随時保護者に伝えています。

見学説明会 … アンケート（10 回：８月～10 月の間に実施）

(3) ３年ごとに第三者評価を受審し、情報の開示を行います。

5. 個人情報の保護

子どもや保護者の個人情報の保護については、重要事項説明の際に説明する。

職員に関しては、研修を行い個人情報の取り扱いについて事例をあげて徹底した指導を行いました。

6. 安定した保育園運営

(1) 特色ある保育

◇自然と親しむ活動として、さつまいも収穫（11/2）、みかん狩り（10/23）

みかん狩りは雨天のため、キッズプラザに変更

◇金岡公園や大泉緑地公園等近隣公園への散歩や散策

コロナ禍のため 9 月・10 月・11 月・3 月のみ実施

・運動遊び　70h／年　（38 回）

・高齢者との交流　※中止

◇年間行事報告　（添付資料 3 参照）

(2) 実習生・職場体験

①看護実習生

大阪労災看護専門学校：令和２年２月 10 日～10 月 14 日（3 年生）　17 名

令和３年２月８日～2 月 10 日　（3 年生）　5 名

②保育実習生

常磐会短期大学：令和２年８月 31 日～9 月 12 日（3 年生）　1 名

③職場体験

長尾中学校、三国丘中学校：※中止

(3) 園児数について　　令和３年３月 31 日現在

クラス 年齢	合計	ひよこ 0 才	うさぎ 1 才	ぱんだ 2 才	きりん 3 才	くま 4 才	らいおん 5 才
人数	116	13	17	19	22	23	22

(4) 中長期計画の見直し

コロナ禍での職員の退職、産休職員が数名いるなかで、消毒の徹底や環境の整備など、業務負担も増えており、今後は増員する予定です。また、先の見通しがつかない状況のなか、次年度からの堺市の財政難による補助金カットがすでに告知されており、大幅な収支の落ち込みが予想されるため、計画の見直しを行います。

(5) 職員について

1 年を通して入職者 9 名（常勤 2 名、非常勤 7 名）、退職者 7 名（常勤 4 名、非常勤 3 名）、育児休業中 3 名でした。

◆配置状況　　令和３年３月 31 日現在

職種	人数	職種	人数
園長	1 人	看護師	1 人
主任保育士	1 人	看護師(非常勤)	1 人
保育士	13 人	用務員(非常勤)	3 人
保育士(非常勤)	10 人	無資格者	1 人
事務員	1 人	無資格者（非常勤）	1 人
		合計	33 人

(育児休業中 3 人を除く)

（6）保育活動について

①通常保育

◆給食

株式会社マルワに業務委託

毎月のお誕生日会、郷土料理、世界の料理、行事食、もちつき、アレルギー対応食

◆健康支援（全園児対象）

内科検診：たけなかキッズクリニック（6/22、10/5）

歯科検診：松浦歯科医院（6/23）、ブラッシング指導（6/23）

身体測定毎月実施

職員検便（乳児、一時預かり保育担当者は毎月、他の職員は随時必要な月に行う）

◆安全対策・事故防止、防災

防犯教室　※中止

「171」伝言ダイヤルの活用：11 回（各月 1 日と 15 日の練習日に活用する）

地震を想定した避難訓練：4 回、令和 3 年 3 月 9 日は地震からの津波を想定した訓練実施

火災を想定した避難訓練：12 回、10 月 7 日に消防立会い訓練実施

不審者を想定した避難訓練：1 回、11 月 12 日に北堺警察署職員による資料に基づく研修実施

（行事報告書　添付資料 3 参照）

◆環境・衛生管理

砂場の殺菌洗浄及び補充：株式会社ダックス（3 月）

害虫殺鼠等駆除通年実施：阪南衛研

蚊の防除活動（4 月～10 月）：堺市保健所 生活衛生センター　年 7 回

7. 施設管理・改修

施設管理改修（計画分）

(1) 各保育質の網戸

計画分は 7 月に 43 万円で改修済、残り 3 分の 2 のうち、3 分の 1 は次年度に予定

(2) 園舎内階段出入口の扉

実施済み（2.8 万円）

(3) ホームページ

令和 3 年 4 月 1 日よりリニューアル

(4) 園児トイレ、水道関係

未実施、次年度に持ち越し

その他計画外分

(1) 保育室空調修繕　合計 65 万円

(2) 門扉改修　合計 61 万円

(3) 厨房関係改修、購入　合計 63 万円　　合計 189 万円

8. 事業の展開

今年度はコロナ禍の影響で一時預かり事業を縮小して実施し、各行事等も縮小や中止したものが多数ありましたが、保育所は閉鎖することなく事業の維持に努めた１年となりました。

次年度も引き続き新型コロナウイルス感染の拡大およびそれに関連した社会情勢がもたらす影響の対応に追われることになると見込まれるなか、堺市財政難による補助金カットがすでに告知され事業運営において厳しい１年になると思われます。

9. 情報の公開

令和３年４月１日からホームページが新しくなります。コロナ禍で人と人との繋がりが薄れつつあるなか、地域の子育て支援に関する情報の内容を充実させるとともに、インスタグラムなども活用し、少しでも在宅で安心して子育てができるような情報の公開・配信を重点的に行います。